

Introduction

～ まちの人紹介 ～



高体連全道大会（陸上競技）で優勝

雄武高等学校3年 木村 智哉 さん

「決勝では砲丸を持った瞬間に行けると確信しました」。先日開催された高体連全道大会（陸上競技）の砲丸投部門で14m47という自己新記録で優勝し、インターハイ出場を決めました。

兄の影響で中学1年生から始めた陸上競技に「目標やノルマを毎日持ち、それを達成するまで練習します」と日頃の努力を惜しまない木村さんですが、北見支部大会直前の記録は13m台ようやく乗った状態でした。しかし、直前の試合で14mを超える記録を出した時「練習の時には無い感覚をつかんだ」と語る木村さん。「全道大会では、前日の円盤投でベスト記録を更新できたので、気持ちのいい状態で最終日の砲丸投につながることでできました」「自分が楽しんで投げることができたのが大きかったです」と優勝した要因を振り返ります。



優勝へのもうひとつの要因は周囲の温かい応援でした。「一番大きいのは親戚からの応援、そして小さい時から見守ってくれた共栄地区の人や、現在の生活を支えてくれる人からの応援でした。大会情報を見て声をかけてくれたことも励みになりました。また、ずっと応援してくれていた親が亡くなったのですが、いい報告ができるよう頑張れたのは大きかったです」と静かに語る木村さん。「優勝したことで自分の住む雄武町、そして雄武高校の知名度を広げられたのが嬉しかったです」と郷土愛に満ちた一面も見せてくれました。

最後に三重県で開催されるインターハイへの意気込みを聞くと「自分にとって未知の領域ですが、全国で決勝に残って爪痕を残したいと思っています。応援よろしくお願いします」と笑顔を見せてくれました。砲丸投は8月6日（月）に行われます。

頑張れ、木村さん！

【雄武高校歴代陸上インターハイ出場者】

- ・片川志遠（2017／男子やり投）
- ・岩越優人（2013／男子走り幅跳）

※今月号の「フレッシュトーク」は休載します。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生き、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかがげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生き、住みよい環境をつくりま。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくりま。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくりま。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくりま。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和46年3月19日制定

▼木村さん高体連全道大会優勝おめでとうございます。大会で優勝してから木村さんにインタビューする機会がありました。木村さんは絵に描いたような好青年で、お話ししていく中で、ファンになってしまいました。全国大会も頑張ってください。（大辻）

◆編集後記

Editor's note

▼人権の花贈呈式にはマスコットキャラクター「人KENまもるくん」も登場。大きな着ぐるみ…いえ、その大きな姿に児童たちは大興奮。やはり全力で遊ぶ児童が多い中、まもるくんを気づかうようにそっと近づいてほっぺを撫で、微笑んでいた優しい女の子が印象的でした。（内宮）